

令和8年度学校経営方針等

○ 経営スローガン・ありたい学校の姿

- ・夢を語り感動があふれる学校づくり
- ・実現したい未来のために
- ・地域から信頼される学校づくり

○ 経営方針

- ・全道唯一の工芸科として、美術工芸の学びを通じた質の高い教育活動を推進する。
- ・創作活動を通して学ぶ意欲を高め、可能性を引き出し、夢を叶える確かな学力を育成する。
- ・他を思いやり、ともに学び感動があふれる学校生活を通して、豊かな人間性を育成する。
- ・生徒・保護者・地域の信頼と期待に応える、社会に開かれた教育課程の理念の実現に向けた取組を推進する。
- ・持続可能な社会の創り手の育成のため、地域と連携・協働を図り、「おと高」の特色化・魅力化を進める。
- ・これらを実現し、安定的な生徒募集を図るための効果的な広報活動を行う。

1 重点目標

- (1) 基礎・基本の確実な定着を目指し、基本的な生活習慣の確立と学習習慣を定着させる。
- (2) 確かな技術・技能の向上を目指し、生徒一人一人の個性を生かした造形教育を推進する。
- (3) 学校生活及び寄宿舎生活を通して、豊かな心と社会性を身に付けさせるための生徒指導を推進する。
- (4) 3年間を見通したキャリア教育を通し、自己実現のため意欲と態度を身に付けさせる。
- (5) 生徒が、安全かつ安心して学習ができ、学校生活を送れる環境を創り上げる。
- (6) これらに情熱を持って取り組む教員

2 指導上の重点事項

[学習指導]

- (1) 学びの主体である子どもが、様々な道具や他者から得た情報を適切に活用して、自らにとって「最適な学び」とは何かをその都度判断しながら、自立的に学び進められるようになるための支援に努める。
- (2) 異なる考え方が組み合わさり、よりよい学びを生み出すため、多様な他者との協働的な学びとなるよう努める。
- (3) 学びが現実と結びつき、より深い理解につながるよう「探究的な学び」の充実に努める。
- (4) 常に生徒の端末が机の上に置いてあり、いつでも自由に活用できる環境となるよう努める。
- (5) 生徒が自らの学びを振り返り、次の学びに向かうためと、教師が次の授業の改善に生かすための「指導と評価の一体化」の考え方に基づく実践に努める。

[生徒指導]

- (1) 食事や睡眠、あいさつ、マナー等について、全教職員の共通理解のもと、基本的な生活習慣を確立するための実践に努める。
- (2) 地域の特色を生かした特別活動等の充実に努め、自主性や自立性の育成に努める。
- (3) 生徒の多様性の理解と関係機関との連携等を通し、支える生徒指導の実現に努める。

[進路指導]

- (1) 生徒が主体的に進路選択ができるよう、キャリア教育の充実に努める。
- (2) 生徒の適性や進路希望に応じたきめ細やかな進路指導に努める。
- (3) 模擬試験受験及び資格取得の推進に努める。
- (4) こまめな情報提供を含め、家庭と連携した進路指導に努める。

[健康・安全指導]

- (1) 必要に応じた感染拡大予防に努める。
- (2) 危機に対する意識の向上と、安全教育のさらなる充実に努める。
- (3) ネットトラブルやネットいじめ等が起きないように指導に努める。